

愛知大学研究データ管理・公開ポリシー

2025年7月1日

制定

（目的）

愛知大学（以下「本学」という。）は、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」という建学の精神に則り、世界と地域の社会文化の平和的発展を目指し、研究活動を推進してきた。

知を愛する大学として変化する時代の要請に応えつつ、更に新たな知の創造と社会への貢献を進める上で、オープンサイエンスの実現化に向けて取り組むことが重要である。

このため、本学は研究データを適切に管理し、公開及び利活用するためのポリシーを以下のとおり定める。

（研究データの定義）

1. このポリシーが対象とする研究データとは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集・生成されたデータを指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理等）

2. 研究データの管理並びに公開及び利活用の方法は、それを収集・生成した研究者が、法令、本学の規程等並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において、判断することができる。

（研究者の責務）

3. 研究者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

（大学の責務）

4. 本学は、研究データの管理並びに公開及び利活用を支援する環境を整備する。

（ポリシーの見直し）

5. 社会や学術環境の変化に応じて、適宜このポリシーの見直しを行うものとする。

（ポリシーの改廃）

6. このポリシーの改廃は、研究政策・企画会議、常務理事会、大学運営会議及び大学協議会の議を経て、学長が決定する。

附 則(制定)

このポリシーは、2025年7月1日から実施する。